

# 事業計画書

12

事業名	芸術による認知症予防 及び 進行抑制の為の事業と、 子どもの豊かな感性を育む為の事業
団体名	クリニカルアートをひろげる会

## 1. 事業目的と課題の現状及びその効果

### 事業目的

- ① 認知症の症状で悩み苦しむ要介護者や、それを支える家族が、地元で気軽に認知症の予防、抑制効果があるとされるクリニカルアートをうけられる環境を作ること。
- ② 地域の人々に、認知症の予防や進行抑制に効果があるとされるクリニカルアートという芸術療法があるという事を知っていただく事。
- ③ 子どもの発想力を伸ばしたり、感性を豊かにし、心の安定に有効とされるクリニカルアートを子ども達にも提供し、情操教育や感性教育に貢献する事。
- ④ 将来的に、多動や不登校など、問題を抱える子どもとその親に対して、クリニカルアートを提供し、オンリーワンの存在としての自己を発見していただく機会をつくる事。

## 課題の現状

### ①について

松戸市では、常盤平団地における高齢者の孤独死などが報道され、注目を浴びた。

目前に迫った超高齢化社会においては、地域社会として超高齢化社会を支える町づくりは急務である。

我が国の認知症の高齢者の数は、現在 200 万人を超えるといわれており、20 年後には 1.5 倍から 2 倍に近い 350 万人になると言われている。

ここ、松戸市においても昨年度、介護保険要介護・要支援認定者数 12,000 人中、約半数の方が認知症の症状がある方であり、そのうち、約 3 割の方に徘徊等の行動障害が見られているとされる。松戸市では、認知症サポーター養成講座を行うなど、積極的に認知症の高齢者対策にのりだしている。(松戸市役所ホームページ 松戸市版 認知症を知る一年より)

クリニカルアートは認知症の予防や進行抑制の為に編み出された芸術療法である。

この療法を認知症の高齢者が受けられる場所は、直近では、東京御茶ノ水である。

車椅子を必要とするなど、多くの認知症高齢者は身体的な問題から、公共の交通機関を利用して御茶ノ水まで行く事が困難であり、また身体的なマヒなどない認知症高齢者は徘徊等の観点から十分な見守りが必要で、家族等の介護者が認知症高齢者を御茶ノ水まで連れて行く事も、やはり困難が大きい。

近くに気軽に受けられる場所が無い為、クリニカルアートを受ける事を断念せざるを得ない場合が多い。

### ②について

多くの芸術療法が医療機関や介護施設でここ数年、注目されているが、「クリニカルアート」もまた数ある芸術療法の一つである。

この芸術療法は、報道番組や新聞等で取り上げられる事もあり、出版物も出てはいるが、まだまだ認知度が低く、導入されている一部の医療機関、大学での研究などで行われているが、現実には一般にはそれほど知られていない。

クリニカルアートによる芸術療法は行政が主体となって積極的に行われている地域も存在(下記※参照)するが、ここ松戸市ではクリニカルアート(臨床美術)という芸術療法を知っている人は、殆どいないのが現状である。

(※参照：自治体行政による取り組みの例。

長野県諏訪市 地域福祉計画 平成 21 年度～25 年度 ダイジェスト版 16 頁には、

「現況」として、『市が開催した資格取得講座で育成した准臨床美術士のボランティア団体「SUWART」を指導者として介護予防教室や地区サロン等への出前講座を開催、また保育士研修を行い、一部の園で芸術保育を実施』とある。

また、「計画」としては、『介護予防教室「脳イキキ教室」や地区サロン等への出前講座の拡充を図り、全保育園で芸術保育の保育現場への取り組みを進める』と明記されている。

平成 21 年 3 月発行 編集：諏訪市健康福祉部社会福祉課

〒392-8511 諏訪市高島一丁目 22 番 30 号 電話 (0266) 52-4141

[http://www.city.suwa.lg.jp/web/kikaku/suwakeikaku/data/20\\_tikifukusi\\_digest.pdf](http://www.city.suwa.lg.jp/web/kikaku/suwakeikaku/data/20_tikifukusi_digest.pdf)

より一部抜粋)

### ③について

次世代を担う子ども達の教育は、どちらかといえば優劣を競う「左脳教育」に偏りがちである。

美術教育においても出来あがった作品に対し、評価が当然行われる。

上手い、下手といった区別が行われてしまう結果、下手と評価をうけた子どもは美術に対し、苦手意識をもつことになる。結果、美術が嫌いな子どもも現れることに繋がっているのは残念な事である。

(但し当会は、左脳型の教育の意義を否定しているわけでは決していない。)

感性や情操をつかさどる「右脳型」の美術教育では、上手い、下手の評価は存在しない。

そのような美術教育を受ける機会がなかなか得られないのは残念な事である。

### ④について

学習障害や多動、不登校など、問題行動を指摘される子どもが増え、学校教育の中では学級崩壊などが問題視されるようになってきている。

小学校の教師が、心の病などで通院や休職をする度に、現場の児童や保護者からは、しばしば「犯人探し」が行われ、犯人として名指しされる特定の多動などの症状を抱える児童と、その保護者は、行き場のない状態に追い込まれている。

以上により、私が活動したいと思っているクリニカルアートの需要は、地域社会において少なからぬものがあると思われる。

## その効果

数ある芸術療法の中に、美術の専門家が編み出した臨床美術（クリニカルアート）がある。

既に脳神経外科医師による認知症進行抑制、予防の効果が認められている。

私が地域活動の中で、クリニカルアートを行う事で効果があげられる事をここに述べる事とする。

- ① これまで東京の御茶ノ水まで行かなければ受けられなかったクリニカルアートが、身近な地域社会で受けられるようになる。  
身近な地域社会で行われる事で、クリニカルアートによる右脳に対する働きかけを行う機会が増える。  
認知症予防の為の様々な取り組みの中に、地域住民の新たな選択肢が増える事になる。
- ② 講演会やワークショップなどのイベントを通して、様々な認知症予防の方法がある中に、造形活動を楽しみながら行うクリニカルアートというものもあるという事を、多くの方に知っていただける機会が設けられる。
- ③ 従来行われている左脳を主につかって行う造形美術ではなく、右脳を使って行う造形美術では、本人のひらめきや感性など、その人ならではの個性が大切にされる。学校教育では当たり前のようにしている「評価」は左脳世界の美術であり、右脳教育としての美術では作品に上手、下手の評価を持ち込む事が無い。クリニカルアートを体験する事で、創作する事の楽しさを体感でき、芸術活動ならではの感性教育、情操教育の機会が増える。
- ④ 美術造形活動は本来、自分自身の感性を形に表す作業であり、出来あがった作品は、その人自身であるともいえる。クリニカルアートを通して、自分自身が、大切な価値のあるオンリーワンの存在であり、個性を持った人間であるという事を再発見する事で、傷ついた心の回復や、自分自身への自信の回復が期待できる。

## 2. 申請理由

- ① クリニカルアートを受ける事を必要としている人達に、それを受けやすい参加費用で受けられる環境を作りたい。

身体に障害がある方でも行きやすい、身近な公共施設等でクリニカルアートを受けられる環境を作りたい。

- ② 臨床美術士は、専門の教育を受けたスキルを持っており、それに対する謝礼があってもよいと考える。

活動を行うにあたっては、通信費や交通費等の個人負担もあり、実費相当の謝礼をもらう事で、息の長い活動として継続させていきたい。

会員が自腹を切らずに活動を続ける事ができれば、息の長い安定した活動とする事ができる。

上記の理由により、これから本格的な活動を始めるにスタートラインにだって、報償費をはじめ、画材などの消耗品費、認知症予防の為にクリニカルアートに参加下さる受益者や、提供者である当会メンバーが安心して様々なイベントを実行する為に保険料など、予想される費用に対し、援助をうけたい。

### 3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

#### 事業の内容

##### 1. 地域活動・・・受益者参加型プログラム

①作品展・展示会 (年1回)

②講演会活動 および ミニワークショップ (右脳を使うアナログ画体験)

・講演会 (年2回)

・ワークショップ (年3回)

③参加型実践プログラム

・高齢者向け・・・ 認知症予防プログラム 又は認知症抑制プログラム (年12回)

・子ども向け・・・ 感性や情操を豊かにする右脳アート制作 (年2回)

##### 2. 子ども団体プログラム・・・子ども団体などの依頼または交渉により、子ども団体の主催するイベントなどに参加して行う。

①東部こどもまつり (年1回)

②東部ミニこどもまつり (年2回)

##### 3. 高齢者施設プログラム・・・介護老人保健施設や、特別養護老人ホーム、グループホーム、認知症の改善に力を入れている医療機関などの施設内において、入居者や患者を対象 (年12回) としてプログラムを行う。

# 実施方法

## 1. 地域活動

(受益者参加型プログラム)

1. 作品展・展示会

2. 講演会活動

ミニワークショップ

(右脳を使うアナログ画  
体験)

3. 参加型実践プログラム

・高齢者向け

・子ども向け

①公共施設や高齢者施設などの会場などを利用し、作品展を行う。

②広く「臨床カルアート」の効果や、楽しさを知って頂く為に、講演会やワークショップを積極的に行う。(講演会やワークショップは参加費無料で行う予定)

③希望する人に会場に来ていただいて気軽に参加できる、参加型実践の機会を設ける。プログラムの内容や対象によって、材料費などに充てる為に、参加費をいただく方向で計画。(初年度は、1回500円から1000円程度を設定。材料費は制作内容によって異なる。)

## 2. 子ども団体プログラム

①東部こどもまつり 年1回 参加

例年参加予定。

石や新聞紙、粘土など、年度ごとに題材を変え、オブジェや置物等の立体造形の制作。

(※東部こどもまつり・・・松戸市立梨香台小学校体育館で毎年1回、10月頃に行われる地域の子どもの為のお祭り。歴史は古く昭和50年代より開催。梨香台小学校卒業生の親と、現役児童保護者が協力して行っている。主催は「東部こどもまつり 本部」)

②東部ミニこどもまつり 年2回 参加

夏季に「暑中見舞い葉書」を、冬季には「クリスマスカード」または「年賀状」の制作を提供し、児童や保護者と制作する。

(※東部ミニこどもまつり・・・松戸市立梨香台小学校体育館で学校週5日制導入時、「東部こどもまつり本部」が土曜日の子どもの居場所づくりの為に企画運営をはじめた活動。毎月第一、第三土曜日、午前中に実施。)

1. 東部こどもまつり

2. 東部ミニこどもまつり

### 3. 高齢者施設プログラム

地域の施設などで入居者対象に、毎月クリニカルアートの実践を行う。

初年度の活動であり、臨床美術士の人数が比較的少なくても対応が可能な、認知症予防プログラムからの導入を検討している。

活動状況や、施設担当者との話し合いで、認知症予防プログラムから認知症進行抑制プログラムへ変更する場合もある。



# スケジュール

スケジュール (2009年9月末での計画)		
月	会の活動	企画 イベント
4月	本格活動始動  地域活動  高齢者施設プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会</li> <li>・講演会・ワークショップ</li> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施</li> </ul>
5月	地域活動  高齢者施設プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施</li> </ul>
6月	地域活動  高齢者施設プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施</li> </ul>
7月	地域活動  子ども団体プログラム  高齢者施設プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・東部ミニ子どもまつり参加 梨香台小学校体育館で第1又は第3土曜日に、暑中見舞いの制作を提供</li> <li>・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施</li> </ul>
8月	地域活動  高齢者施設プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・参加型実践プログラム 子ども向け 感性アート制作</li> <li>・ミニワークショップ開催</li> <li>・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施</li> </ul>
9月	地域活動  高齢者施設プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施</li> </ul>
10月	地域活動  子ども団体プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・東部子どもまつり参加。梨香台小学校体育館内で、子ども向け立体造形プログラムを提供。</li> </ul>

	高齢者施設プログラム	・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施
11月	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム</li> <li>・参加型実践プログラム 子ども向け 感性アート制作</li> <li>・作品展・展示会</li> <li>・講演会・ミニワークショップ</li> </ul>
	高齢者施設プログラム	・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施
12月	地域活動	・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム
	子ども団体プログラム	・東部ミニこどもまつり参加 梨香台小学校体育館で第1又は第3土曜日に、年賀状又はクリスマスカードの制作を提供
	高齢者施設プログラム	・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施
1月	地域活動	・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム
	高齢者施設プログラム	・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施
2月	地域活動	・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム
	高齢者施設プログラム	・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施
3月	地域活動	・参加型実践プログラム 高齢者向け 認知症予防プログラム
	高齢者施設プログラム	・高齢者施設内での認知症予防プログラム実施

## 4. 事業成果の活用と将来展望

### 事業成果の活用

- ・ 症状を持つ認知症要介護者と、それを支えるご家族（介護者）が、希望を持って明るく生きていけるお手伝いができるような、地域サロンのような活動となる事を目指す。

どのような症状をもつ人であっても、人である限り、生きている限り、人としての誇りを大切にして生きていけるよう、その方に寄り添って、芸術を通して住みよい街を作っていきたい。決して、認知症患者は「どうせ何もわからない」「本人は気楽でいい」わけではない。

既に国内の認知症高齢者数が200万人を越え、20年後には350万人になるといわれている。その350万人の認知症高齢者を介護する家族も増加するのである。

少子化で貴重な労働者の数が減少していく事が確実であるのに、介護の為に社会を支える労働者が仕事を辞めて介護に専念しなければならないような事態も予想される。（すでにそのような介護者は存在している）将来を見据え、認知症の予防啓発活動、認知症の進行抑制に真剣に取り組んでいきたい。

- ・ 未来を担う子ども達に、左脳に頼って写實的に描く方法ではなく、見た物の印象やその時の感情を自由な色と形で表現することで右脳を刺激、脳の働きを良くして子どもの発想力を伸ばし、感性を豊かにする活動を目指す。

多くの子ども達にクリニカルアートの体験、実践を行う。

また、不登校や多動など問題を抱える子ども達に対しても、他地域では積極的にクリニカルアートが実践されており、この地域での実践も将来的には目指していきたい。

- ・ 松戸市を中核とした芸術性豊かな街づくりを目指します。

## 将来展望

1. 参加者からいただいた参加費を500円と設定し(特に材料費がかさむ物のみ1000円で行う)、初年度の活動では資金的な面の様子を見る。
2. 作品展示会を開催したり、フリーマーケットなどに参加して、参加者などから寄付された作品等の販売を行う。
3. 活動を通してクリニカルアートの効果を認めていただき、高齢者施設等の施設内プログラムとして、予算化していただく。
4. 会の趣旨に賛同していただける会員を増やしたり、寄付を募る。

将来的にはこのようにして、活動を継続させていきます。

## 事業の予算計画書

### 【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	年会費 (4月～翌3月) 参加費 協賛金	82,000円	年会費 500円×14人=7,000円 参加費 500円×5人×10回=25,000円 参加費 1000円×5人×2回=10,000円 参加費 500円×10人×2回=10,000円 協賛金 30,000円
	自己資金合計 (a)	82,000円	
市	助成金申請額 (b)	100,000円	
	収入合計 (c) (a+b)	182,000円	

### 【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

### 【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	報償費	76,000円	行事1回につき、臨床美術士1名につき一律2,000円の謝礼金
	消耗品費	40,000円	教材、画材、材料費など
	保険料	21,560円	ボランティア行事保険 560円×27=15,120円 ボランティア活動保険 460円×14=6,440円
	使用料	25,000円	公共施設等の施設使用料
	通信費	4,440円	切手代など
	印刷製本費	5,000円	印刷代
	対象となる経費合計額 (d)	172,000円	
他	交通費	10,000円	
その	その他経費合計額 (e)	10,000円	
	事業費 (f) (d+e)	182,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。